

第2章（2）国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現

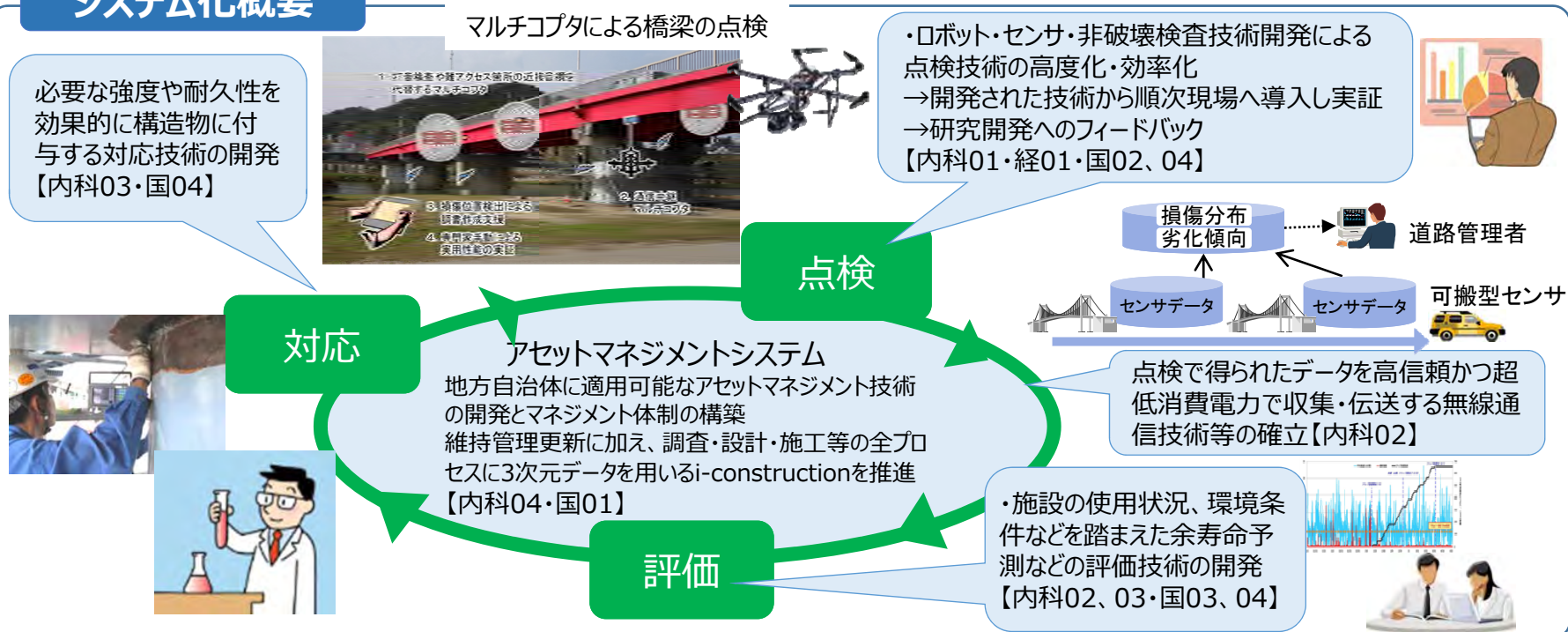
I 効率的かつ効果的なインフラ維持管理・更新・マネジメントの実現

I 効率的かつ効果的なインフラ維持管理・更新・マネジメントの実現

今後増大するインフラの維持管理更新に係る投資需要（2023～2033年度の推定更新費4～5兆円/年）に対応し持続的な社会の発展に寄与するため、インフラの効率的な維持管理・更新技術を開発する

- ・インフラを適正に維持管理・更新・マネジメントしていくためには、インフラに係る維持管理・更新等の全プロセスにおける効率化が重要であり、各プロセスの技術の組合せ（システム化）によって、維持管理・更新技術全体の最適化を図る。
- ・i-construction等の取組により得られる三次元データを中心とするビッグデータを分析・活用するための技術の導入により、Society5.0の実現に貢献する。

システム化概要



第2章（2）国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現

Ⅱ 自然災害に対する強靱な社会の実現

Ⅱ 自然災害に対する強靱な社会の実現

大規模自然災害から国民の生命・財産や産業を守るため、レジリエンス（強靱性）を高め、安心・安全な社会を目指す。

- ・災害に負けない都市・インフラを構築する技術、災害を予測・察知してその正体を知る技術、早期に被害状況を把握し、国民の安全な避難行動に資する技術や迅速な復旧を可能とする技術などの研究開発を推進する。
- ・関係府省等の防災関連システム間のデータ共有化とともに、国、自治体、企業などの災害関連情報を必要とする人々に適切な情報を提供するシステムとすることで、Society5.0の実現に貢献する。

システム化概要

《耐震性向上との危険性事前把握》

- ・火災の危険性評価技術開発
 - ・建造物の耐震性能向上
 - ・地震後の残存性能評価技術開発
- 【内科01・総02・文01・国01、06】

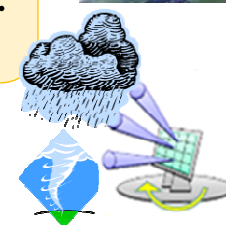


実大三次元
震動破壊実験施設

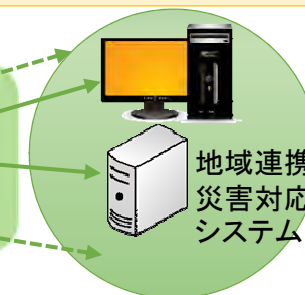
予防力

予測力

《より迅速で高精度な情報取得》
地震・津波・豪雨・竜巻、火山等の観測技術と、予測技術の高度化 【内科02、03、04・総02、03・文02、03、04、05・経01・国02、03、04、05、06】



災害情報のリアルタイム共有化【内科】
(レジリエンス災害情報システム)



地域連携
災害対応
システム

対応力

《地域・企業・個人の災害対応と意思決定支援》

- ・全国を概観した被害の全体状況を即時に推定・把握するシステムの開発
- ・地図情報を用いて被害情報・道路情報・避難行動に関する情報等を円滑に提供するシステムの開発
- ・ロボット技術や応急橋梁技術の展開による災害対応の実現
- ・防災を含むSIP開発成果の海外発信

【内科04、05、06、07・総01、02・外01・文03、04・国06・防01、02、03】



浸水状況

建物被害
状況

インフラ
被害状況